

## 付加評価項目(保育所版)(24項目)

A-1 保育所保育の基本		第三者評価結果
(1) 養護と教育の一体的展開		第三者評価結果
①	保育所の保育方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	Ⓐ・b・c
②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている	Ⓐ・b・c
③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている	Ⓐ・b・c
④	3歳児以上の保育において養護と教育の一体的展開がなされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている	a・Ⓑ・c
⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている	Ⓐ・b・c
<p>(特に評価が高い点)            保育理念や方針・目標を念頭に置き、保育課程が作成され、評価・見直しがされ、保育計画や個別計画に反映されている。幼・保・小・中連携協議会に参加し、情報交換と共有を図りながら地域との連携が密にされ、子どもの育ちが就学に繋がる環境ができています。</p> <p>(改善が求められる点)            年間計画の内容が、0歳児から就学児まで継続して保育できるよう統一され、各年齢のあそびが保障される環境設定の工夫があると、さらに充実すると思われる。</p>		
(2) 環境を通して行う保育		第三者評価結果
①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている	a・Ⓑ・c
②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている	Ⓐ・b・c
③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている	a・Ⓑ・c
④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている	a・Ⓑ・c
⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている	Ⓐ・b・c
<p>(特に評価が高い点)            園内外の安全確認・点検が記録簿に記載され気持ちの良い環境が整っており、保育課程から、さまざまな保育事業が展開され、異年齢交流が盛んに行われ、成長の喜びや年長児へのあこがれる思いも見受けられる。            また、地域の方々や外部講師を招き様々な人や言葉表現に触れる機会が持たれていた。</p> <p>(改善が求められる点)            子どもが自由に玩具を手にする環境作りに工夫をし、豊かな活動ができる配慮をして欲しい。</p>		

(3) 職員の資質向上		第三者評価結果
①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている	a・ <b>b</b> ・c
<p>(特に評価が高い点) 職員一人ひとりが保育理念を理解した上で、自己評価をし、園長、主任保育士が個別面談により、助言・指導を丁寧に行っている。</p> <p>(改善が求められる点) 外部講師を招いて、全職員で研修を受ける機会や、全職員をグループ編成し、職員同士が話し合い研鑽する人材育成の仕組みを作してほしい。</p>		

A-2 子どもの生活と発達		
(1) 生活と発達の連続性		第三者評価結果
①	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている	<b>a</b> ・b・c
②	障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	<b>a</b> ・b・c
③	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	a・ <b>b</b> ・c
<p>(特に評価の高い点) 個別計画を立案し、職員共通理解のもと保育指導がされ、外部関係機関とも連絡を密にし、情報交換や指導を受けより良い対応がされ、家庭支援にもなっていた。</p> <p>(改善が求められる点) 子どもたちが、リラックスして異年齢児保育を楽しめる環境作りに工夫して欲しい。</p>		
(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		第三者評価結果
①	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	<b>a</b> ・b・c
②	食事を楽しむことができる工夫をしている	<b>a</b> ・b・c
③	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている	<b>a</b> ・b・c
④	健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	<b>a</b> ・b・c
<p>(特に評価が高い点) 保健関係マニュアルなどを整備し、年間保健計画や食育指導プランが策定され、毎月、異職種間連携の給食会議を開催し、日々の喫食状況やアンケート等から嗜好を把握しながら、食材や調理の工夫に反映されている。 また、嘱託医との連携もされ、定期健康診断や毎日、園児の健康状態チェックを行い、看護師と連携しながら健康管理が行われている。</p> <p>(改善が求められる点) 良く噛んで食べることができるよう食材の切り方にも配慮されたい。</p>		
(3) 健康及び安全の実施体制		第三者評価結果
①	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの支持を得て、適切な対応を行っている	<b>a</b> ・b・c
②	調理場、水回りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている	<b>a</b> ・b・c
<p>(特に評価が高い点) アレルギー疾患生活管理表により、対象園児の情報を共有し、主治医の指示書に基づき適切に食事が提供されている。 また、衛生管理等については、衛生管理・衛生管理基本作業マニュアル食中毒発生時対応マニュアル等各種マニュアルが整備され、点検・確認により衛生管理がされている。 さらに、研修会や会議を通して全職員に必要な知識・情報が周知されている。</p>		

A-3 保護者に対する支援		
(1) 家庭との緊密な連携		第三者評価結果
① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している		㉗・b・c
② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている		㉗・b・c
③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者との共通の理解を得るための機会を設けている		㉗・b・c
④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている		a・㉗・c
<p>(特に評価が高い点) 園児の食した食事サンプル展示や体調に配慮したレシピ等を自由に持ち帰れるよう常備し、家庭でも活用できる配慮がされていた。 保護者へのアンケートや送迎時の会話、個別懇談、連絡帳を活用し情報交換を行い相互理解を図るよう努め家庭と連携している。</p> <p>(改善が求められる点) 保護者に向けての講演会を開催し、保護者の学びや交流の機会を設け、家庭への啓発や職員研修にもつなげて欲しい。</p>		